

# 公益財団法人ひろしまドナーバンク

## 令和5年度事業実施報告書

(令和6年3月31日現在)

令和5年度の財政に関しては、運用資金の枯渇により基本財産から2千万円の取り崩しを行った。そのほか広島大学眼科、広島県眼科医会が主催するセミナーや講習会等に参加された方からのご寄附・募金を頂戴した。

事業に関しては、コロナ禍から戻りつつある経済活動を背景にライオンズクラブや地域のイベント等が再開されるなど、基本的な事業が実施できるようになったほか、10月には広島県で開催された第24回臓器移植推進国民大会に主催団体の一つとして企画、運営に関わり普及啓発に努めた。

献眼の推進に関しては、ライオンズクラブが実施する献血等のイベントでの普及啓発に対して献眼パンフレット等の配布を行ったほか、広島マリーナホップ特設会場で開催されたPEACE STOCK78'に参加し、ライオンズクラブの協力を得て献眼ブースを設置し普及啓発を行った。また、アイバンクサポーターの育成、強化のため、日本アイバンク協会認定サポーター講習会を開催し、献眼の連絡や対応について再確認を行い実績に繋がる取り組みを行った。更にライオンズクラブ国際協会LCIFからスペキュラーマイクロスコープのご寄贈をいただいた。ほか、角膜摘出協力医に関する研修会(ウェットラボ)を開催し角膜摘出技術向上に努めた。加えて臓器提供病院からの依頼により献眼対応に関する院内体制に関する打合せを実施し献眼実績増に努めた。

臓器提供・移植医療の推進に関しては、院内体制整備のためのチラシ、終末期のリーフレット等を作成し配布を行った。また、院内移植コーディネーター研修会をウェブ配信により3回実施し、5類型施設のほか心停止後臓器提供が可能な県内施設、更に県外のコーディネーター等へ案内を行い多くの参加を得たほか、県外のバンク等がWeb開催する院内臓器移植コーディネーター向け研修会への参加を促し資質向上に努めた。一般県民への啓発活動としては、大学、高校、専門学校へ移植医療についての出前講座を実施したほか、10月の普及推進月間には県内図書館や企業の協力のもと普及啓発を行った。更に、昨年引き続き日本臓器移植ネットワークの都道府県支援事業特別枠によりグリーンリボンデザイン公募プロジェクトを進め、10月に開催した第24回臓器移植推進国民大会にて最優秀者の表彰を行い、翌日からブックカバーとして3万部を協力書店に配布した。

造血幹細胞移植の推進では、骨髄ドナー登録会の開催件数および登録者数は、ほぼ計画通り実施した。昨年度開催された「骨髄バンク推進全国大会」企画として、学生によるアイデアフェスで優秀となった企画の一つの「ピースドナーシート」がマツダZOOMZOOMスタジアムで実施され、その告知等の協力を行った。また学生ボランティアの新規ドナー説明員資格取得に協力を行った。

そのほか、マスコミ各社へ移植医療の普及啓発に協力を依頼し、特に第24回臓器移植推進国民大会が開催されるにあたり多くのニュースが報道された。

具体的な事業としては、次のような活動を行った。

## 管理部門

### 1. 一般寄付金

3,027,979円

寄 付 者	金 額
ライオンズクラブ 336-C 地区	1,500,000
宮田 章	500,000
2R2Z 5 ライオンズクラブ	266,000
5R1Z 8 ライオンズクラブ合同チャリティー	189,500
広島県眼科医会（総会、講習会、懇話会参加者）	163,000
広島市医師会チャリティーゴルフ	101,000
匿名	100,000
上田とみ子	50,000
小林 正夫	50,000
広島大学大学院視覚病態学（臨床眼科セミナー参加者）	46,000
原田みすず	15,000
渡部 朋子	12,000
保久 早苗	10,000
広銀ボランティア口座 36 件	8,479
大原美智枝	7,000
佐藤勢都子	6,000
鳴戸 大二	4,000
寄 付 合 計	3,027,979

### ○ドナーバンク支援自販機による寄付金

5,533,910円

設 置 場 所	台数	金 額
広島大学病院 広仁会館、P1 立体駐車場前、霞体育館、中央診療棟、臨床管理棟 3 階、 1 階待合口、2 階待合口、2 階みどりの広場、2 階エレベーター横 整形外科待合前、B F 1 階エスカレーター前	11	2,284,370
北部医療センター安佐市民病院	2	499,599
株式会社福屋	2	322,576
大成建設（サッカースタジアム）	2	305,964
木村眼科内科病院（1 階ロビー、4 階ロビー）	2	292,628
中国労災病院	1	230,703
三次中央病院（救急病棟内・夜間休日出入口・バス停横）	3	194,274
（医社）仁慈会安田病院	1	157,686
株式会社ヒロテック（ドーム）	1	156,115
広島電鉄株式会社	2	134,455
（公社）広島市身体障害者福祉団体連合会（広島総合リハビリテーションセンター）	1	90,441
J A 尾道総合病院	1	88,686
J A 広島総合病院	1	83,808
戸田工業株式会社（大竹工場 2、創造センター 1）	3	76,435
安芸市民病院	1	68,542
株式会社ニシキタクシー	1	60,824
二階堂眼科	1	58,820
メリーホスピタル（ワタキュー）	1	47,987
広島県医師会	1	39,883
サンデン株式会社	1	39,470
プルデンシャル生命保険会社福山支社	2	37,045

広島銀行新本店	1	33,020
広島市医師会	1	32,331
ユニテック工業株式会社	1	29,070
有限会社あおぞら（青空マート）	1	25,730
医療法人井之川眼科医院	1	23,743
福山松永ライオンズクラブ	1	20,300
つまもと眼科	1	18,792
荒木脳神経外科病院	1	17,127
学校法人 銀河学園	1	16,648
J A 吉田総合病院	1	13,760
べにまんさくの里	1	11,120
医療法人 JR 広島病院	1	8,350
広島スチール工業株式会社	1	5,812
梶川病院	1	3,291
安佐医師会	1	2,906
株式会社MASUDA	1	1,599
設置台数・寄付額	57	5,533,910

※コカ・コーラボトラーズからの入金分は半期2回（10月と4月）のため10月以降の実績を含まない。

## 2. 募金箱（30施設）

1,019,231円

施設名	金額	施設名	金額
戸田眼科的場医院	158,860	井上眼科医院	25,581
木村眼科内科病院	82,920	みやた眼科	25,366
藤武眼科	71,813	ひがき眼科	23,171
八本松病院	57,667	海田市薬局・岸本眼科	22,585
高山眼科	51,640	本郷中央病院眼科	20,931
かたぎり眼科医院	46,533	山中眼科医院	18,155
はしもと眼科	43,211	ひとみ眼科	16,672
高陽ニュータウン病院	38,615	つるが眼科	16,245
井之川眼科医院	37,158	阿品土谷病院	14,981
藤原眼科	34,626	小島病院	12,226
しらね眼科	34,059	奈良井眼科	12,169
セントラル眼科	33,604	まつなが眼科	11,968
おち眼科医院	31,428	やまね眼科	9,166
山代眼科医院	29,270	おの眼科	7,997
竹田眼科医院	28,540	尾道クリニック	2,074

## 3. 賛助会員

2,567,000円

法人会員 152口 93団体 (1,520,000円)

個人会員 349口 239名 (1,047,000円)

## 事業部門

### I. 献眼移植のあっせん事業

#### 1. 角膜提供者の募集及び登録に関する事業（定款第4条第1号）

①例年同様、献眼についての啓発用のポスター、パンフレット及び献眼申込書を広島県、市町、ライオンズクラブ、広島県眼科医会、角膜移植手術実施医療機関等を通じて県民への頒布を依頼し、献眼登録者の確保及び献眼推進運動を展開した。

◎献眼ポスター 300部（日本アイバンク協会より）

◎献眼パンフレット 4,000部

◎献眼登録申込書 作成なし

◎献眼登録者連絡用マグネットシート 500枚

②本年度はライオンズクラブ等が実施する献眼推進運動が実施され、送られてきた「献眼登録申込書」について、記載不備などの確認の後、登録後当該申込者に「登録者カード」「献眼登録者連絡用マグネットシート」を送付した。

令和2年度からコロナ禍での新規献眼登録者が少ない状況が続いていたが、令和5年度は299名と増加したものの、死亡・取消などにより実質79名減の状況となっている。

◆広島県の献眼登録者（3月末時点） 31,388名（79名減）

前年度末登録者数	31,467名
新規登録者数	299名
献眼者数	28名
取消数（転出・死亡等）	350名
3月末登録者数	31,388名

2. 角膜移植希望者の募集及び登録に関する事業（定款第4条第2号）

角膜移植希望者の募集は、従来どおり角膜移植手術実施医療機関に受付窓口を設置し、登録及び管理業務を行った。

◆広島県の角膜移植希望者（3月末時点） 67名（67眼）

前年度末手術希望者数	67名（68眼）
新規手術希望者数	30名（30眼）
移植角膜数	30名（30眼）
希望取消数	0名（1眼） 両眼希望者が1名取消
3月末手術希望者数累計	67名（67眼）

3. 摘出角膜のあっせん及び保存に関する事業（定款第4条第4号）

3月末現在までにご提供頂いた角膜は次のとおりで、保存眼等を含み県内2施設にあっせんした。

① 献眼数 28名 56眼（保存眼等32眼）

② あっせん数 30眼（うち開設以来保存眼6眼利用）

③ あっせん先 ア 県内（30）： 広島大学病院（22）  
木村眼科内科病院（8）

イ 県外（0）

◆全国及び広島県の献眼状況（令和6年3月末時点）

献眼者数	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績
全国	725	466	505	575	611
広島県	18	22	17	22	28

4. 献眼・献腎を含め臓器提供者への敬弔

献眼及び献腎等臓器を提供された方に対し感謝状の贈呈を行うとともに、弔電、花輪をお供えして弔意を表明した。また、厚生労働大臣感謝状に供物を添えてご遺族に伝達した。新型コロナウイルス感染予防対策として、ライオンズクラブ会員以外の献眼者については、ご葬儀等への参列は控えることとし、感謝状は郵送で対応した。

○献眼者 28名（厚労大臣感謝状伝達13名、ご辞退1名）

○献腎者（脳死提供含む） 4名（厚労大臣感謝状伝達3名）

## II. 移植医療の推進に関する普及啓発事業

### 1. 移植医療に関する知識の普及啓発に関する事業（定款第4条第3号）

#### 1) 一般に対する移植医療に関する知識の普及啓発

①ライオンズクラブが実施する献眼推進運動やその他イベント等に対し、啓発パネル、幟の貸出しなどを行った。

◎パネル利用状況 6回

◎角膜のぼり利用状況 5回

◎移植医療（臓器用）のぼり・バナー利用状況 2回

②広島県眼科医会主催の「目の健康講座」への参加（10/29）

③市町等が実施する健康祭りへ参加し、臓器提供・移植に関する啓発活動を行った。

三原市民健康福祉まつり(10/28)、本郷マックスバリュイベント(11/3)、

④マツダZOOMZOOMスタジアムでの移植医療の啓発活動（5/27）

⑤広島県眼科医会が主催する「マスコミ懇話会」に参加（9/14）

⑥グリーンリボンブックカバーデザイン公募企画

県内の中高大学等含む県民へグリーンリボンをテーマとしたブックカバーのデザインを県内の小・中・高校、専門学校、大学、市町、公共機関、企業等へ公募し応募 69 作品の中から優秀作品 1 点、特別賞 1 点を今回は第 24 回臓器移植推進国民大会に合わせ表彰し、優秀作品をブックカバーとして県内の廣文館書店 9 か所で配布した。

⑦日本骨髄バンク主催ピースドナーシート in 広島（ZOOMZOOM スタジアム）への告知等の協力（9/16）

⑧第 24 回臓器移植推進国民大会へ主催団体の一つとして企画支援、協力、参加を行った。

場所：広島県民文化センター（10/21）

テーマ：ともに結ぶいのちのリボン」

企画内容：高校生によるスピーチコンテスト

広島県立皆実高等学校演劇、トークセッション 等

参加者：142 名（事前登録 65 名、当日参加 77 名）

Web 視聴回数 305 名（最大同時接続数 46 名）

⑨JDDW2023 日本消化器外科学会大会市民公開講座（4/9）

広島大学病院消化器外科主催：広島県民文化センター

中高生をターゲットとしたセミナーへの企画支援、協力、参加

⑩PEACE STOCK78' に参加し、ライオンズクラブの協力を得て献眼ブースを設置し普及啓発を行った。

広島マリーナホップ特設会場（11/12）

⑪その他の啓発活動

i. ドナーバンク支援自販機を設置していただくことにより、献眼及び臓器移植に関するポスター的な意味合いでの移植医療の普及啓発を行った。（設置台数 57 台）

ii. マスコミ各社へ移植医療の普及協力の依頼および取材対応を行った。

（中国新聞社・読売新聞社・広島テレビ・広島ホームテレビ・テレビ新広島・中国放送等へ依頼）

特に第 24 回臓器移植推進国民大会が開催されることのほか、臓器提供 1000 例にあたり多くのニュースが報道された。

iii. ホームページにて移植医療についての情報発信、およびイベント案内や骨髄ドナー登録会日程、医療者向け情報提供などの発信を行った。

2) 啓発用のポスター及びパンフレット、バンクだより等の作成及び配布

当バンクで作成したグリーンリボンキャンペーンポスター、リーフレット及び公社)日本臓器移植ネットワークのパンフレットを公共施設、関係団体へ配布するとともに、公財)日本アイバンク協会が

ら購入するポスター等を眼科医療機関及びライオンズクラブ等に配布し、県民への啓発に努めた。

- i. 「ひろしまドナーバンクだより」(17,600部)を発刊。
- ii. 移植医療に関する啓発グッズや資料を作成し関係方面に配布  
グリーンリボンキャンペーンリーフレット 10,000枚・ポスター1,000枚作成
- iii. 骨髄ドナー登録に関するチラシをイベント等で活用して頂くために、データ等の資料を作成し提供を行った。

### 3) 10月の普及推進月間行事の開催・参加

①骨髄バンク普及推進月間にあわせ広島県及び広島市などとともに「イオンモール広島府中」の協力のもと「骨髄パネル展」を開催し最終日に骨髄ドナー登録会を実施した。

○期間：令和5年9月25日(月)～10月1日(日)

場所：イオンモール広島府中 3階 ママトコワークショップ

内容：パネル展、集団登録会(新規登録者11名)

広島県主催の「骨髄バンク推進街頭キャンペーン」中止

②臓器移植普及推進月間にあわせグリーンリボンキャンペーンを企業等の協力を得て普及啓発の実施

○キャンペーンポスター、ドライバーステッカー等の配布や貼付の協力

協力企業等：広島県タクシー協会、広島県バス協会

県内図書館(14カ所)

提供病院に展示ブース開設(23カ所)

○本通り商店街アーケード、福屋広島駅前エールエールA館、宇品大橋でのライトアップの協力

③グリーンリボンフェス2023への企画準備およびイベント支援(10/22)

グリーンリボン推進協会に協力するとともに会場での啓発ブースの設置

○移植医療写真展、音楽ライブ等

### 4) 講師等の派遣を行う出前講座を開催

①出前講座により、広島県臓器移植コーディネーター等が、臓器提供・移植に関する講義を行い移植医療の普及啓発を行った。

○加計高等学校(6/13)

○清水が丘高等学校(7/12)

○皆実高等学校(8/17)

○皆実高等学校演劇部(8/25)

○クラーク記念国際高等学校(8/29)

○城北中高等学校(9/13)

○安佐准看護学院(9/19)

○安田女子大学(9/28)

○三次看護専門学校(12/21)

○クラーク記念国際高等学校(12/27)

○比治山女子中学校(1/18)

○皆実高等学校(2/9)

○三次看護専門学校(2/29)

②献眼・角膜移植、骨髄ドナー登録に関する普及啓発を行った。

○LCキャビネット会議(7/27)

○竹原ライオンズクラブ(10/24)

### 5) 厚生労働大臣及び広島県知事が感謝状を贈呈する移植医療に係る功労者の推薦

厚生労働大臣感謝状の推薦および広島県知事が感謝状を贈呈する移植医療に係る功労者の推薦を行い、社会にその業績を披露した。

i 「臓器移植の普及啓発」(厚生労働大臣)

○大庭 信二(呉医療センター・中国がんセンター 統括診療部長)

ii 「普及啓発活動功労者」(広島県知事)

○菊地由利子(普及啓発出前授業講師)

2. 献眼・献腎・造血幹細胞移植並びにその他臓器移植の推進に関する事業（定款第4条第7号）

1) 献眼の推進に関する事業

①ライオンズクラブを対象とした「日本アイバンク協会認定サポーター講習会」を開催した。(10/12)

(福山地区) 場 所：広仁会館（広島大学霞キャンパス内）

出席者：受講者 52 名+LC 役員 2 名

②角膜摘出協力医に関する研修会（5/28）

場 所：日本アルコンウェットラボ

出席者：受講者 5 名+大学講師ほか 4 名

③5 類型施設との献眼に関する打合せ（12/19）

広島市民病院救急科における献眼の取組みについて

④日本アイバンク協会主催 全国アイバンク連絡協議会への参加（東京都：2/2）

2) 造血幹細胞移植の推進に関する事業

造血幹細胞移植の推進のため、広島県赤十字血液センター、広島県、広島市と患者家族の会「広島つばさの会」「がんの子供を守る会」「広島国際大学骨髄バンク推進委員会しずく」「山陽女子短期大学SRV」「日本赤十字広島看護大学すずらん」などのボランティア団体等と連携し、個別に説明員養成研修会を適宜実施し、説明員の確保と骨髄ドナー登録者の確保事業に取り組んだ。

①骨髄ドナー登録者の確保対策への協力

公財) 日本骨髄バンク等が主体として実施する骨髄ドナー登録者の確保のため、行政等の協力により、骨髄ドナー登録会を開催した。

②骨髄提供・移植に関する出前講座を開催し普及啓発活動を行った。

○比治山大学（7/5）参加 100 名

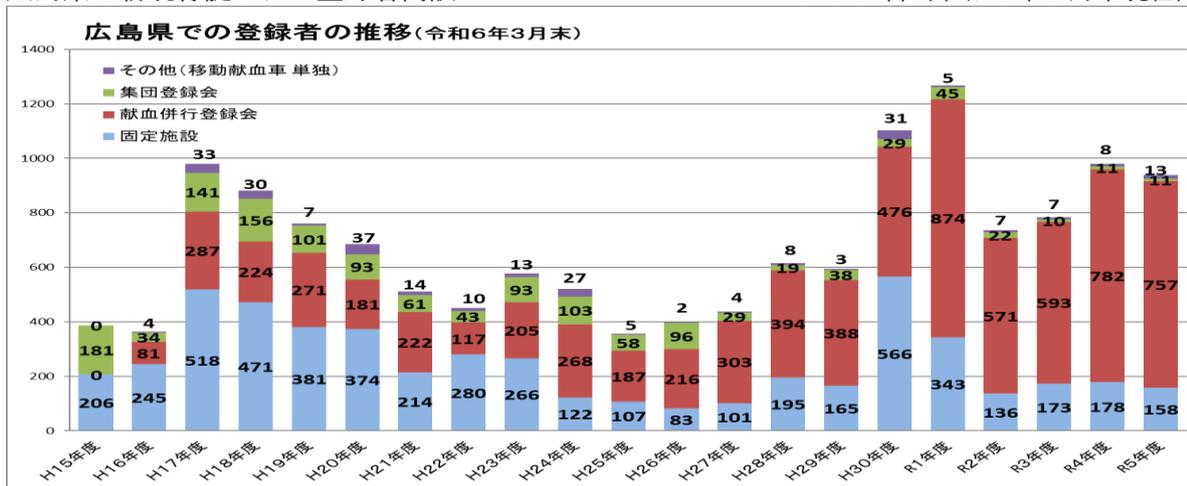
◆ひろしまドナーバンクが実施した骨髄ドナー登録会の回数と新規登録者数

768名（令和6年3月末現在）

登 録 会		昨年度実績	本年度
事前説明会	回数	0回	0回
	登録者		
集団登録会	回数	1回	1回
	登録者	11名	11名
献血併行型登録会	回数	104回	113回
	登録者	782名	757名
合 計	回数	105回	114回
	登録者	793名	768名

◆広島県の新規骨髄ドナー登録者内訳

939名（令和6年3月末現在）



◆骨髄ドナー登録者数・移植希望者数・移植者数・提供者数（令和6年3月末現在）

区 分	全国 (広島県)	広島県	
		20～54歳	人口1万人対比
ド ナ ー 登 録 者 数	554,123 (広島県10,983)	10,897 (全国第15位)	94.9 (全国第27位)
患 者 登 録 者 数	1,658 (国内1,156)	12 (全国第27位)	
骨 髄 移 植 者 数 (財団発足後累計)	28,652 (国内28,356)	794 (全国第11位)	
骨 髄 提 供 者 数 (財団発足後累計)	28,678 (国内28,475)	695 (全国第12位)	

注) 提供者と移植者との数字の違いは移植に至らなかった件数があるため  
人口1万人対比人数は提供できる年齢の20歳以上から計算

Ⅲ. 移植医療推進のための医療施設における院内体制の整備等に関する支援事業

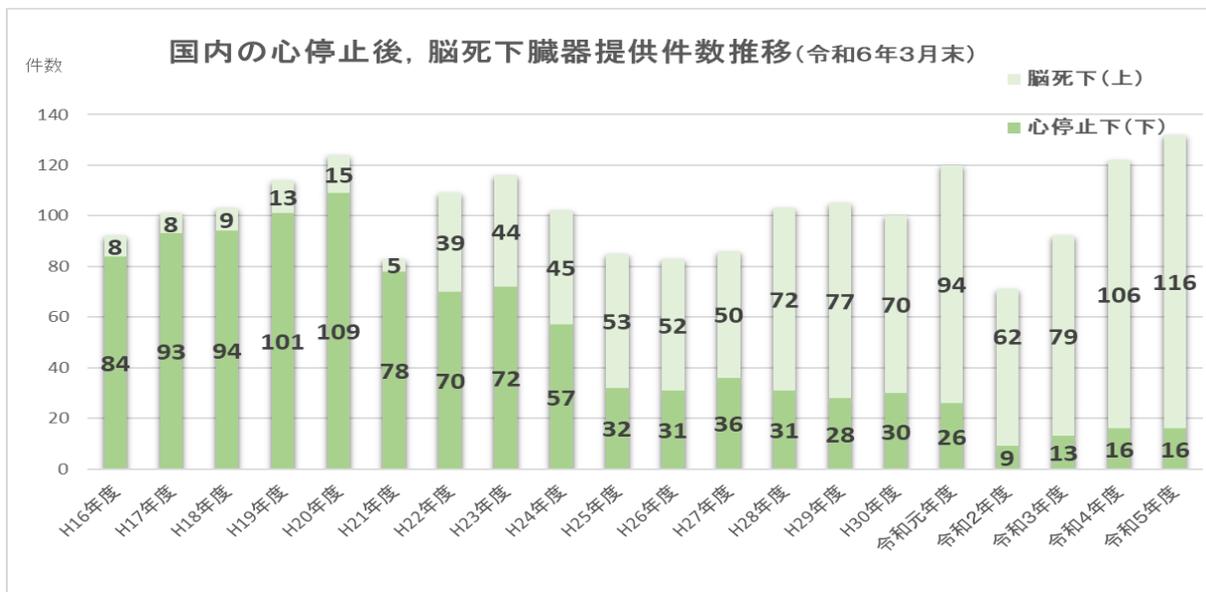
1. 移植医療に関する知識の普及啓発に関する事業（定款第4条第3号）

広島県行政や各病院の院内コーディネーターと共に、密接な連携を図りながら、院内体制整備支援を行い、臓器移植推進に取り組んだ。

◆献腎登録者 8,746名（65名減）

前年度末 登 録 者 数	8,811名
新 規 登 録 者 数	4名
献 腎 者 数	4名
取 消 数（転出・死亡等）	65名
3 月 末 登 録 者 数	8,746名

◆全国の心停止後・脳死下臓器提供の推移（令和6年3月末時点）



\*脳死下の内、臓器の提供に至らなかった件数を含む

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
脳死下提供数	全国	70	94	62	79	106	116
	広島	2	3	0	2	1	3
心停止後提供数	全国	30	26	9	13	16	15
	広島	3	0	1	1	0	1

1) 救命救急センターなどの臓器提供施設等への訪問

院内体制整備のため各施設を訪問し、臓器摘出における提供病院内体制整備の支援を行った。(臓器提供マニュアル作成、研修会、臓器提供シミュレーション実施への協力)

①対象施設(院内移植C o 設置施設26施設)

②訪問施設および回数:18施設 40回

広島市民病院、県立広島病院、広島大学病院、福山市民病院、大田記念病院、JA広島総合病院、JA尾道総合病院、尾道市民病院、マツダ病院、中国労災病院、呉医療センター、呉共済病院、広島赤十字原爆病院、介護老人保健施設べにまんさくの里、荒木脳神経外科病院、三次中央病院、北部医療センター安佐市民病院、中国中央病院

2) 臓器提供に関する関係者の連絡協議会等の開催及び参加

①広島県臓器提供施設協議会(中止)

②院内コーディネーター研修会(Web開催 7/3:約170名、12/20:約140名、2/28:約120名)

3) 院内コーディネーターとともに院内関係者への啓発活動等

臓器提供発生時の役割等を検討する研修会を開催し、臓器提供に係る院内体制整備を行った。

①院内研修会・勉強会・臓器提供シミュレーションの開催及び支援・協力

○広島市民病院ディスカンファレンス(6/7) 約30名

○広島総合病院臓器提供委員会(6/20) 約20名

○広島赤十字原爆病院(10/24) 約100名

○広島市民病院救命救急センター勉強会(11/16) 約60名

○太田記念病院臓器提供委員会(12/7) 約10名

○荒木脳神経外科病院研修会(2/5) 約80名

○中国労災病院臓器移植講演会(2/6) 約80名

○荒木脳神経外科病院脳死判定シミュレーション(3/4) 約20名

○広島赤十字・原爆病院OP室シミュレーション(3/12) 約20名

○広島赤十字・原爆病院脳死判定シミュレーション(3/21) 約20名

○北部医療センター安佐市民病院臓器移植講演会(3/25) 約60名

②院内体制整備のための啓発物作成

○県内臓器提供施設(5類型・心停止病院) 241施設へ配布

「広島県からのお知らせ」入院患者用意思表示啓発チラシ 18,000部

○県内臓器提供施設(5類型) 20施設へ配布

「ご家族に皆さまとお話ししたいこと」情報提供用冊子 2,000部

4) コーディネーターの学会・研修会への参加

広島県臓器移植コーディネーターが、(公社)日本臓器移植ネットワーク及び移植学会等が主催するWeb研修会に参加し、最新の移植情報の収集と資質向上に努めた。

また、多くの研修会がWeb配信であったため県内の院内コーディネーターに対し参加を促した。

①日本臓器移植ネットワーク主催

1) あっせん事業体制整備事業全国会議(東京:7/19Web, 8/9Web、2/22 現地開催)

2) B級コーディネーター研修会(東京:6/14-16 Web参加)

3) 第2回臓器提供について考えるワークショップ(東京:12/21Web)

②中国四国コーディネーター会議(Web開催)

(主催県=山口県 6/19、高知県 8/18、岡山県 11/15、広島県 2/28)

③日本移植学会総会(京都府:9/21-23)

④日本死の臨床研究会年次大会(愛媛県:11/25-26)

- ⑤西日本組織移植Ｃｏ研修会・他県主催Ｃｏ研修会（大阪府：6/22-23Web、1/18-19Web）
- ⑥徳島県院内移植Ｃｏ研修会（徳島県：8/4Web）
- ⑦臓器移植に関する県民フォーラム（宮城県：10/1Web）
- ⑧埼玉県小児医療センター移植医療セミナー（埼玉県：12/8Web）
- ⑨千葉県臓器移植セミナー（千葉県：12/9Web）
- ⑩岡山大学病院臓器移植連携構築事業講演（岡山県：2/8Web）
- ⑪第57回日本臨床腎移植学会（愛知県：2/14-16）

5) 献腎を含めた臓器提供事例が発生した場合の業務

本年度、県内の臓器提供事例は脳死下3件、心停止後1件、臓器搬送2件で、(公社)日本臓器移植ネットワークの指示のもと情報収集と臓器搬送等の対応を行った。そのほか提供に至らなかった5件の臓器提供情報に対して、情報収集とその対応を行った。

2. 移植医療機関及び摘出協力医との連絡調整に関する事業（定款第4条第5号）

広島県臓器移植コーディネーター、骨髄説明員及び事務職員が個別に移植医療機関或いは摘出協力医等との連絡調整を行った。

- ①献眼の推進に関する打合せ
- ②臓器移植推進の一般啓発に関する打ち合わせ
- ③臓器提供施設への移植医療推進のための打合せ
- ④骨髄ドナー登録に関する打合せ
- ⑤臓器搬送（警察、消防、空港、広島県）に関する打合せ